

## ロンドンの渋滞課金

中村 徹

ITS・新道路創生本部 調査役

### 概要

2013年1月のISO/TC204/WG5 ロンドン会議において、ロンドンで実施している都市内課金について紹介があったため、その内容について報告する。

運用システムは下記の通り。

#### (1) 運用開始時期

2003年2月

#### (2) 導入の目的

ロンドンの中心部には1日当たり185,000台の車両が流入し、イギリスの中でロンドンが最も渋滞がひどく、平均速度は約15km/hで、渋滞による損失は20億ポンド(3,120億円)もあり、この状況を改善することを目的として渋滞課金制度を導入した。

この収益は人や物流の輸送効率を上げるための費用として使われる。2010年～2011年で1億6,900万ポンド(278億8,500万円)の収入があった。

※1ポンド=156円

#### (3) 運用事業者

Transport for London (ロンドン交通局)

#### (4) 運用委託

IBM (2009年11月からIBMが顧客サービスと運用を委託)

#### (5) 対象車両

ロンドン中心街を通る全ての車両  
例外：バス、排ガス規制適合車、タクシー、オートバイ、電気自動車、軍用車両、救急車、障害者が運転する車両そして国営医療サービス事業は無料、課金エリア内の住民は90%割引

#### (6) 課金方式

自動ナンバープレート撮影

#### (7) 課金対象道路

ロンドン中心部 (図1の赤点線内)

#### (8) 課金日時

月曜日～金曜日の午前7時～午後6時 (土日祝日は課金除外日)

#### (9) 課金額

事前支払い (通過前に支払う) : 10ポンド (1,560円)

事後支払い (通過後に支払う) : 12ポンド (1,872円)

自動引き落とし (ナンバープレートを登録) : 9ポンド (1,404円)

※1ポンド=156円

#### (10) 支払い方法

インターネット支払い、ガソリンスタンドでの支払い、電話を掛けての支払い、郵便での支払い、銀行口座やクレジットカードによる自動引き落としがある。

自動引き落としは、毎日、毎週、毎月もしくは毎年を決めて、登録した車両に対して請求



図1 渋滞課金エリア  
(出典：WG5 ロンドン会議資料)



図2 課金エリアの標識



図3 カメラと道路上マーク

(11) 課金チェック

650台のカメラによってナンバープレートを撮影  
自動ナンバープレート読み取り (ANPR) によって処理  
165箇所の課金エリア出入口に標識や道路上にマーク  
が表示されている (図2、図3参照)。

(12) 罰金

罰金は1日当たり120ポンド (18,720円)  
※1ポンド=156円

## 2 渋滞課金の効果

2003年2月に渋滞課金を導入し、その効果を1kmの移動時間で評価した。その結果は、渋滞課金を導入する前は1kmの移動に約2.3分、導入直後は1kmの移動に約1.6分 (3割減)。しかし、導入して4年後以降は導入前とほとんど変わらない状況となっている (図4参照)。

渋滞課金が導入されて、渋滞課金エリアへの車両の流入量は、乗用車の流入量は減っているが、それ以外の車両はほとんど変化無し。近年、自転車の数が増えつつあ

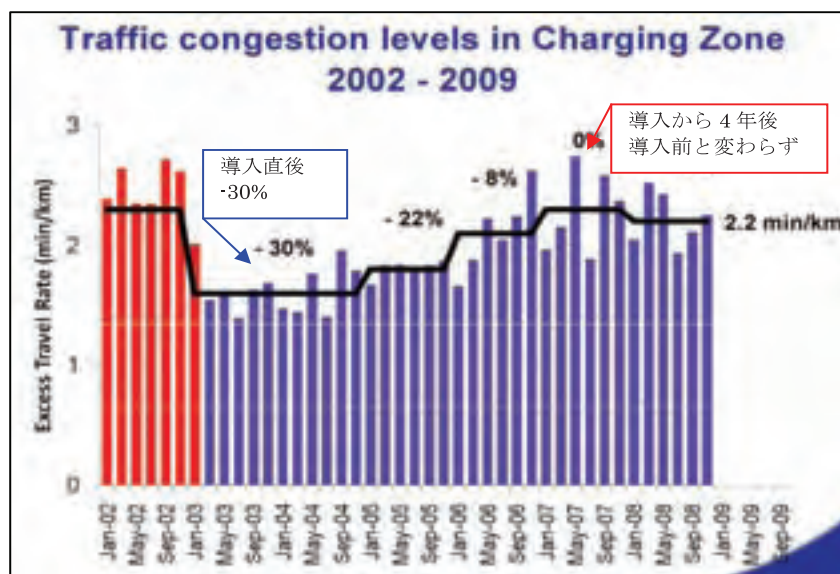


図4 渋滞課金エリアの混雑状況 (移動時間)  
(出典: WG5 ロンドン会議資料)

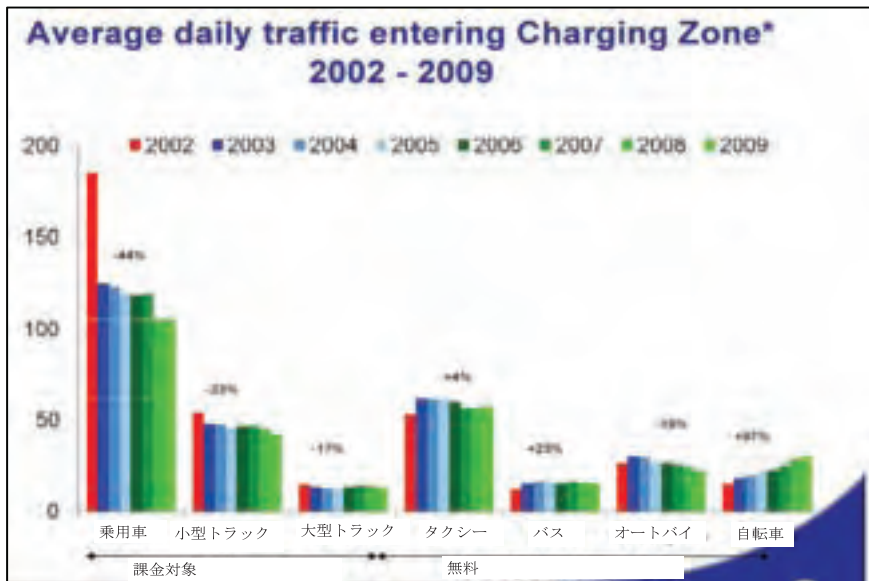


図5 渋滞課金エリアへの車両の流入量  
(出典：WG5 ロンドン会議資料)

る (図5 参照)。

## 4 渋滞課金の現在の検討

## 3 渋滞課金エリアの拡大

2003年2月に渋滞課金を導入し、2007年2月にロンドン中心街の西側に渋滞課金エリアを拡大した。しかし、利用者からの反対などがあり、渋滞課金エリアは導入当初の範囲に戻った。

罰金の引き上げと支払い方法の見直しを検討している。罰金は、現状の1日当たり120ポンドから130ポンドへ引き上げ。

支払い方法は、ガソリンスタンドでの支払いを廃止する方向で検討している。

罰金の引き上げは違反に厳しくし、ガソリンスタンドの支払いはコスト削減だと思われる。

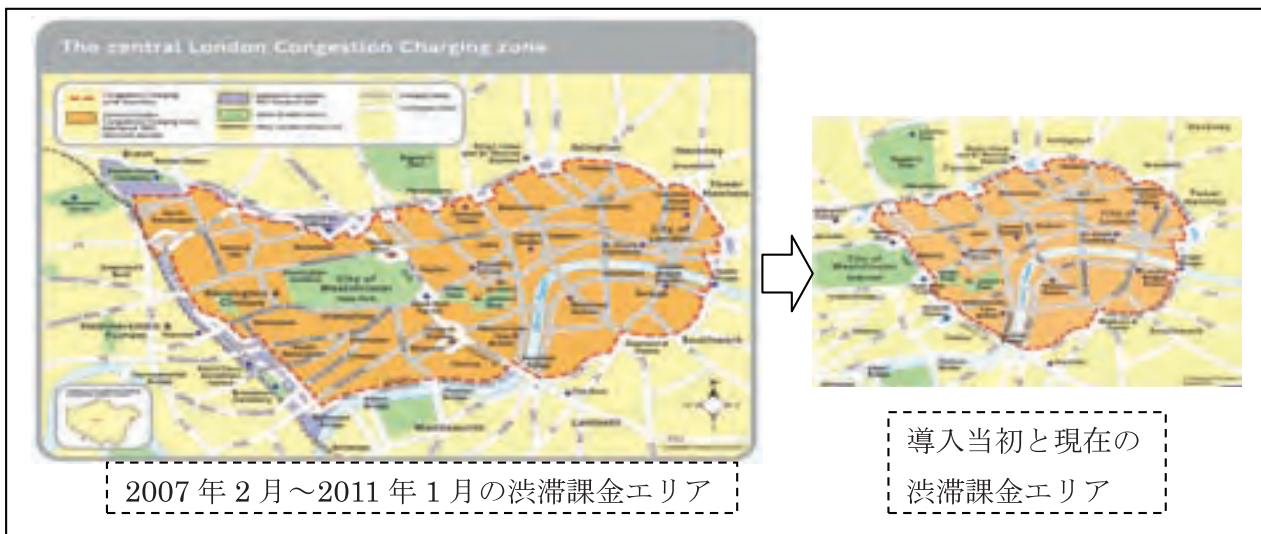


図6 渋滞課金エリアの変化



## 5 おわりに

ロンドンの渋滞課金は、導入当初は都心部への車両流入抑制に効果があったが、課金されることが普通になると（慣れてくると）、渋滞の抑制には効果がないと思われる。だが、日々の都心部への車両流入量を見ると、乗用車の流入が減り、タクシーやバスの台数が増え、乗用車から公共交通に移動手段が変化していると思われる。

## 6 その他（運賃格差）

ロンドンでは車両に対するロンドン中心部の流入抑制だけでなく、公共交通を利用した人の移動にも中心部を避けるような工夫（運賃格差）がされている。

ロンドンの鉄道の運賃はゾーン1～6に設定されている。ゾーン3からゾーン3に移動する場合、ゾーン1のロンドン中心部を通過すると片道4.5ポンドの運賃がかかり、ゾーン1を通過しないでゾーン3だけで移動すると往復4.8ポンドという安さで移動出来る。

